

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【公表番号】特表2006-515761(P2006-515761A)
 【公表日】平成18年6月8日(2006.6.8)
 【年通号数】公開・登録公報2006-022
 【出願番号】特願2006-501077(P2006-501077)
 【国際特許分類】

A 0 1 K 61/00 (2006.01)

【F I】

A 0 1 K 61/00 G
 A 0 1 K 61/00 T

【手続補正書】
 【提出日】平成19年1月17日(2007.1.17)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

炭酸カルシウム本体を、液相焼結する方法であって、以下の諸工程：

- a) 実質的に炭酸質カルシウムの出発粉末を、部分的に高密度化された本体に成型する工程；
- b) 約5質量％～約8質量％なる範囲の含水率を持つように、該本体を湿潤させる工程；
- c) 該本体を、加圧チャンバーに配置する工程；
- d) 該加圧チャンバーを、実質的に排気する工程；
- e) 該加圧チャンバーを、二酸化炭素ガスによって、実質的に昇圧する工程；
- f) 該工程e)の後に、該加圧チャンバーを、実質的に排気する工程；および
- g) 該加圧チャンバーを、二酸化炭素ガスによって、約4.13～5.86MPa(約600～850 PSI)なる範囲の圧力まで、昇圧する工程を含み、
 該出発粉末が、少なくとも約15m²/gなる表面積を持つことを特徴とする、上記方法。